

障がい者向け転職支援サービス「DODA チャレンジ」

ビデオ通話を使ったキャリアカウンセリングを導入

～拠点への来訪が難しい求職者向け カウンセリング会場への移動を無くし、精神・身体的負担を軽減
聴覚障がい者の遠方支援も可能に～

総合人材サービスの株式会社インテリジェンス(本社:東京都千代田区、代表取締役兼社長執行役員:高橋広敏)が運営する、障がい者向け転職支援サービス「DODAチャレンジ」は、求職者とのキャリアコンサルタントでのカウンセリングに、ビデオ通話の導入を開始します。障がい者向けの人材紹介サービスとしては初の試みです。

DODA チャレンジでは、専門のキャリアコンサルタントが求職者と1対1でカウンセリングを行い、経験・スキルや目指すキャリアをもとに、求人の紹介を行います。従来、カウンセリングは専用のカウンセリングブースや電話で実施していましたが、拠点での対面カウンセリングが難しい求職者を対象に、3月よりビデオ通話を利用したカウンセリングを導入することとなりました。

障がい者向けの転職支援サービスにおいては、カウンセリングのなかで一人ひとり違う障がいの特徴やコミュニケーションの傾向などを細かく把握することが、特性に合わせた仕事内容や企業環境を紹介するうえで、非常に重要です。

一方で、電車などを利用しての移動が身体的、精神的な負担となる障がい者も多く、対面でのカウンセリングへの壁が高いという状況もありました。電話によるカウンセリングサービスも提供しているものの、聴覚障がいの方は対応が困難であること、しぐさや顔の表情などによる伝達情報が伝わらないことなどが課題でした。

そこでDODA チャレンジでは、拠点での対面カウンセリングが難しい求職者向けに、Webを介したビデオ通話によるカウンセリングサービスを開始。求職者は、自身のPC、タブレット端末より、指定されたURLよりカウンセリング専用サイトへアクセスし、ビデオ通話用のアプリケーションをインストールします。そのアプリケーションを通じて、キャリアコンサルタントとビデオ通話でつながることができます。専用のビデオ通話システムを利用することで、情報機密性の保たれた環境下でのカウンセリングを実現しました。また、聴覚障がい者向けのカウンセリングでは、手話のできる専門キャリアコンサルタントが対応します。



Webを利用したカウンセリングの様子

本サービスの導入により、拠点への訪問が難しい等、これまで支援が難しかった求職者へと支援の幅が広がります。DODA チャレンジでは、ビデオ通話によるカウンセリング機会の拡大により、一層多くの障がい者の雇用機会創出に貢献していきます。

<DODA チャレンジについて>

インテリジェンスが2009年7月に開始した障がい者向けの転職支援サービス。障がい者雇用に精通した専任のキャリアコンサルタントが転職を支援。個別の状況に応じた最適な求人の紹介を行います。障がいの状況やスキルレベルによっては、就業環境にも配慮した上で、DODA がもつ一般求職者向けの求人紹介も行い、幅広い可能性を提供することが可能です。